

製品名: XIAP マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM85992**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:4000,IHC 1:100-1:500,ICC 1:25-1:50
分子量	56.7kDa

抗原情報

遺伝子名	XIAP
別名	E3 ubiquitin-protein ligase XIAP, 632-, Baculoviral IAP repeat-containing protein 4, IAP-like protein, ILP, hILP, Inhibitor of apoptosis protein 3, IAP-3, hIAP-3, hIAP3, X-linked inhibitor of apoptosis protein, X-linked IAP, XIAP, API3, BIRC4, IAP3
遺伝子 ID	331.0
SwissProt ID	P98170
免疫原	この XIAP 抗体は、組み換えタンパク質ヒト XIAP で免疫化されたマウスから生成されます。

背景

カスパーゼとアポトーシスを制御するだけでなく、炎症性シグナル伝達と免疫、銅の恒常性維持、マイトジェンキナーゼシグナル伝達、細胞増殖、さらには細胞浸潤と転移も調節する多機能タンパク質です。直接的なカスパーゼ阻害剤として作用します。CASP3とCASP7の活性部位ポケットに直接結合し、基質の侵入を阻害します。CASP9を単量体の不活性状態に保つことで不活性化します。NF- κ Bシグナル伝達を制御するE3ユビキチンタンパク質リガーゼとして作用し、そのE3ユビキチンタンパク質リガーゼ活性の標的タンパク質には、RIPK1、CASP3、CASP7、CASP8、CASP9、MAP3K2/MEKK2、DIABLO/SMAC、AIFM1、CCS、BIRC5/survivinなどがあります。CCSのユビキチン化は、プロテアソーム分解ではなく、生理学的標的であるSOD1に対するシャペロン活性の増強につながる。MAP3K2/MEKK2およびAIFM1のユビキチン化はプロテアソーム分解にはつながらない。COMMD1をユビキチン化し、そのプロテアソーム分解を促進することで、銅の恒常性維持に役割を果たす。また、NEDD8結合経路のE3ユビキチンタンパク質リガーゼとしても機能し、エフェクターカスパーゼを標的としてネディル化および不活性化する。BMPシグナル伝達経路、およびNF- κ BおよびJNKの活性化につながるSMADおよびMAP3K7/TAK1依存性経路を制御する。Nod様受容体(NLR)の制御を介して、自然免疫シグナル伝達の重要な制御因子として機能する。リポソームは、カスパーゼ依存のおよび非依存的に癌細胞を死滅させる能力を持つ、巨大な多タンパク質複合体です。細胞をリポソームの自発的な形成から保護します。RIPK1およびCASP8をユビキチン化することで、リポソームの形成を抑制します。Wntシグナル伝達の正の調節因子として作用し、TLE1、TLE2、TLE3、TLE4、およびAESをユビキチン化します。TLE3のユビキチン化は、TCF7L2/TCF4との相互作用を阻害し、Wnt特異的転写プログラムの開始に必要な転写共役因子 β カテナンのTCF7L2/TCF4への効率的なリクルートメントと結合を可能にします。

研究分野

アポトーシス、Wntシグナル伝達経路、TGF- β シグナル伝達経路

画像データ

全レーン：抗XIAP抗体 (1:1000~1:4000希釈)

